



# 森のなかま

2016年9月号

NO.101 (継続246号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302



真鶴半島  
(真鶴町観光協会  
ホームページより)

## 自然観察部会研修会『自然観察 技術向上のために』

平成28年7月3日(日)、快晴 場所:真鶴半島

【講師 野田 重雄 氏 8期、女川 修 氏 9期】

< 上野 潤二 11期 >

右写真 上より・ケープ真鶴にてオリエンテーション 午前の部の・野田班・女川班

まだ梅雨の最中にも関わらずこの日は真夏のような晴天。真鶴半島の魚付き保安林と海岸を舞台に、ベテラン講師による観察会を参加者の立場で体験し、個々の説明技術を磨くため、多数のインストラクターが集まりました。参加者は2班に別れ、講師が昼食後に交代する形で、午前中は林内、午後は海岸を歩きました。



野田氏からは、真鶴の植生は本来極相林になるはずだったが、江戸の大火後の木材不足のため積極的に植林された松が数百年保護され大木となって残っていること、クスノキは常緑広葉樹だが一度に葉を入れ替えるため落葉広葉樹のように薄い葉が輝いて見えることなどの説明を受けました。参加者に何をどのように見てもらいたいかを決め、森の仕組みや動植物と人とのつながりを自分の言葉で解説することを学びました。



女川氏からは、観察前の人数確認や講師より前に出ないといった基本的な約束の説明の重要性、「真鶴」の名前の由来(地図上の形が鶴に似ている、他)、江戸城の石垣の約9割が真鶴の石材である、などの土地の歴史から海岸植物の生態学的特徴・名前の由来・類似種との違いまで、丁寧に解説していただきました。



樹林内では、イヌビワ、タシロラン、クスノキの大木、ヤナギイチゴ、ムラサキニガナ、フウトウカズラ、マヤランなどが見られ、午後は、強い日差しの中、ハマユウ、ハマゴウ、スカシユリ、ボタンボウフウ、ハマカンゾウ、テリハノイバラ、ソナレムグラ、ハマエノコロ、ツルナ、マルバグミ、ハマボッス、ツルソバ、ハチジョウススキといった海岸特有の多数の植物のほか、是非見たかったウメボシイゾギンチャクも見ることができました。

お二人の講師の説明を通して、事前の下見と文献等で歴史と植生との関わりを十分調査し、話したい内容を整理すること、当日は参加者の安全に配慮しつつ、森林の現状・働き、自然の仕組みなどを自分の言葉で興味深く伝えることが、参加者の満足につながるのだということを学びました。暑い中有難うございました。今後の観察会では是非心掛けていきたいと思えます。

(続く 次ページ)

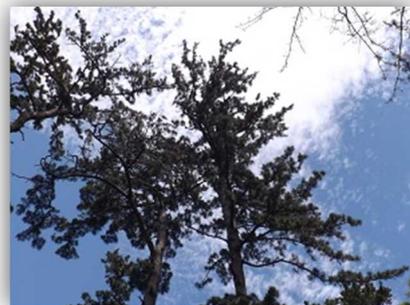
樹林内編



真鶴半島は魚付き林



かつてはNo1で現在はNo3のクスノキの大木



マツの大木



枯れ松にでていたキノコ  
ヒトクチタケ?



イヌビワ(犬枇杷)



タシロラン(田代蘭)



マヤラン(摩耶蘭)

海岸編



暑かった!



ハマユウ(浜木綿)



ハマゴウ(浜栲、浜香)



スカシユリ(透百合)



ツルナ(蔓菜)



ボタンボウフウ(牡丹防風))



ハマグルマ(別名 ネコノシタ)



ラセイタソウ(羅背板草)



ウメボシイソギンチャク(梅干磯巾)

(写真:上野氏⑩、松石氏⑬、広報 松本⑪)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。  
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

## 森林部会主催 平成28年度「第2回 竹林整備研修会」

日時:6月26日(日)9:30~15:30、晴れ 場所:小田原市小竹(神奈川県住宅供給公社所有地 マダケ林)

## &lt; 森林部会 辻村 寿 9期 &gt;

○講師:森林部会 1班:佐藤武晴氏⑤ 2班:滝澤洋子氏⑤ 3班:松永廣氏①

○幹事:佐藤武晴⑤ 水上正昭⑬ 大橋聡⑪ 辻村寿⑨

○特別参加者:神奈川県住宅供給公社 石井敏之様

○参加者(研修者)23名:

菊池昭子①、相馬夏男⑤、永野潔⑥、内野ミドリ⑨、水津敏⑨、村井正孝⑨、小笠原多加子⑩、大橋聡⑪、赤崎さほり⑫、石川裕一⑫、渡辺敏幸⑫、江頭淑子⑬、江上徹⑬、北村貢⑬、斉藤夏葉⑬、星野澄佳⑬、岩田典義⑭、木村勇⑭、小松立史⑭、立花康美⑭、西岡一郎⑭、水野安則⑭、谷雅典⑭

## ● 研修目的

竹林整備をインストラクターとして指導する上での要点、安全への配慮、及び指導者としての基本的技術の会得・習熟を目的とし、また指導方法を共有化し、バラツキがないようにすることを目的とする。合わせて基本となる会のマニュアルを理解したうえで、各現場での整備方法に沿った指導ができるようにする。

## ● 研修スケジュール

9:30~9:40 オリエンテーション 9:40~10:20 講義「竹林整備作業マニュアル概要説明」

10:20~12:00 実習(竹林整備実践) 12:00~12:30 昼食(現場にて)

12:30~14:20 実習(竹林整備実践・班毎の振り返り・移動)

14:30~15:30 道具清掃と返納、意見交換・講評、解散

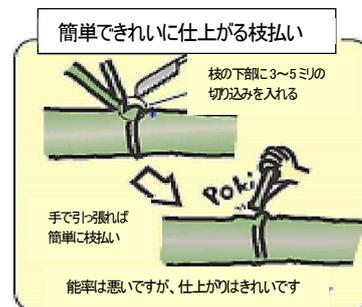
● 28年度2回目の竹林整備研修会が6月26日(日)晴天の中、土地所有者である住宅供給公社の石井様も特別参加していただき総勢29名で実施しました。



実施作業に当たりメイン講師の佐藤氏より研修の目的と各自持参した整備作業マニュアルを参考に必要な事項を親切丁寧に講義されました。参加者は話を聞き流らさぬよう真剣に聞き入っていました。講義終了後3班に分れ各班の講師より所有者の要望説明が行なわれました。実習場所の竹林内は密生しており、どのように手を付けたらよいのか一時迷った様子でありました。インストラクター役を交代しながら2~3人一組となり各自積極的に手際よく伐採、枝払い、玉切りする人になって一本一本根気よく丁寧に処理し、

見栄えよく整理整頓された現地には、陽の光が入り、明るく見違えるようになり研修者はお互いに実習の成果が上がった喜びと満足した顔が見受けられました。作業終了後全員で各班の出来栄を見学し互いに苦勞の成果を労いあった次第です。

見学時は石井様も同行していただき終了時の意見交換や講評のときに出来栄について話を伺いました「竹林内が密生しておりどのように出来上がるか想像していましたがインストラクター皆さんの努力によって明るく広々となって感謝しております」と感想を述べられました。全員ヒヤリハットもなく無事に研修会が終わり安堵しました。



作業前 まるでジャングルです



徐々に明るくなってきました



そしてきれいになってきました

こんなに明るくきれいになりました。  
しまった写真撮りを  
忘れました！！

平成28年度 第1回 やどりき周辺と近隣の山歩き  
『不老山のサンショウバラ観賞山行』を実施しました。  
5月29日(日) (ガイド:辻村⑨、リーダー:飯澤⑨)

概略コース:

駿河小山駅→不老山(928m)→――世附峠→駿河小山駅

「サンショウバラ」は、バラ科の落葉小高木・別名ハコネバラで日本固有種です。神奈川・静岡・山梨県にまたがる富士箱根地区に生育しています。環境省のレッドデータブックでは、絶滅危惧種のⅡ類VUランクに指定されている希少種です。5月末～6月上旬が花期です



②富士山を見ながら富士見橋を渡る



お目当てのサンショウバラ



③明るい稜線を不老山へ



④サンショウバラを背景に記念撮影



⑤世附峠から林道を駿河小山駅



活動短信

今回の掲載は平成28年6/13～7/13です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



**腐草為蚩** 6/11～6/15頃  
ふそうほたるとなる  
腐った草が蚩に生まれ変わる  
第二十六候 芒種 次候

**蓮始開** 7/12～7/16頃  
はすはじめてひらく  
蓮の花が開き始める  
第三十二候 小暑 次候

あるインストラクターは、森林の役割や大切さをクイズ形式で伝えたり、また他のインストラクターは、沢山の葉を自宅より持ってきて、視覚や触覚を通して植物の違いなどを説明していた。六人のインストラクターがそれぞれに個性の溢れた方法で伝えていたと思う。

短い時間の中で森林のすべてを伝えることはなかなか難しいことと思うが、それでも各班の生徒さんたちは聞き流さないようにと身をのりだして耳を傾けていたのが印象的であった。森林が私たちの生活にどれほど役に立っているかということが少しでも理解してもらえたら嬉しいと思う。

(記 小川 和恵 ⑬)

◆ 横浜市立都田小学校

愛川宿泊学習 ※愛川の自然で学ぼう

日 6月13日(月)10:00～11:30、雨

場 愛川ふれあいの村 研修室

参 小学4年生59名、教師5名

イ L内野⑨、白畑⑦、西出⑫、  
 藪田⑬、小川⑬、牧石⑭

担当インストラクターは「愛川ふれあいの村」に9時に集合して、生徒さんたちの到着を待った。ほどなく元気な声とともに小さな体に大きなバッグを抱えた生徒さんたちが見えた。昨夜来の雨が上がる気配もなく降り続き、期待された高取山登山は断念し、雨天時対応メニューで、班毎に「森林についての話し」をすることになった。

◆ 横浜市立下野庭小学校

三浦ふれあいの村宿泊体験学習～自然となかよし～

日 6月16日(木)13:00～14:30、曇り

場 三浦ふれあいの村

参 小学5年生108名 教師・補助8名

イ L足立④、宮本④、安部⑤、白畑⑦、松本⑧、  
 三浦⑧、中村⑪、藪田⑬、真部⑬

宿泊体験学習1泊2日の2日目。活動時間の天気予報は、弱雨のち強雨。しかし神は見捨てなかった。少々の雨がパラパラしたもの、くもりの天気が継続した。対策出発に先立ち、森林インストラクターの自己紹介、足

立リーダーによる森林の話があった。森林の3つの働きのうち、特に、水を貯える緑のダムを強調した。今回の散策路は照葉樹林が多く、楽しむよう話があった。その後、9グループに別れ、森林インストラクターより先には出ない等の注意事項を確認し、三浦ふれあいの村内の森林散策に出発した。

各グループそれぞれ森林インストラクターの案内で、ウォークラリーの一部コースを利用して散策に出発した。海辺にあるふれあいの村のわりに、こもりした樹林があり、樹木の名前・特徴、葉っぱの特徴や葉っぱの匂い、肌さわりや、オオバコ相撲等を楽しんだ。散策の終わりには展望台もあり、相模湾の展望を楽しんだ。各班、無事に、1時間半の散策を終え、最終集合地に集まった。皆、満足そうであった。

今回の宿泊体験はシーカヤックなどの海の活動と森林の活動があり、実り多い体験学習であった様である。

(記 中村 公也 ⑪)

ニュースレター「しずくちゃん便り」  
ホームページは下記URLで見ることができます。



かながわの水環境の  
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

#### ◆ 厚木市立緑ヶ丘小学校 自然に関する授業

日 6月16日(木)11:00~14:00、曇り午後より小雨

場 厚木市立七沢自然ふれあいセンター

参 小学5年生111名 教師6名

イ L村井⑨、島岡③、武者⑦、有坂⑧、内野⑨、小沢⑨、松永⑪、赤崎⑫、大原⑬、古舘⑬、牧石⑭

当日、心配されていた天候は曇り、天気予報も午後より雨予報の為、参加者は雨具を用意し予定通り実施しました。11時に七沢自然ふれあいセンター前の広場に集合し、宗形先生(学年リーダー)より、今日の活動内容と注意について説明、インストラクターの紹介、インストラクターリーダーより、活動中の注意事項の説明後、各班(11班)に分かれ、スタートしました。今日の活動内容(森林の機能、そこに生息する生き物の生態人との関わり、森の楽しみ方、総合的学習として「環境とわたしたし」に沿った内容について、参加者が楽しく学べるように各インストラクターは独自に作成した資料基にレクチャーが行われました。

リーダーからの配布資料「葉っぱビンゴ」を使った、葉っぱ探しでは必死に探し、発見したときの自慢顔が印象的でした。参加した子供たちは、バインダーの用紙にメモを取っていましたが、一枚の用紙で書ききれず追加の用紙をもらい、インストラクターの説明を必死に記録していました。12時過ぎに小雨となったため、集会棟

で班毎の昼食、13:30から武者インストラクターよりパワープポイントによるレクチャー「森のお話」が行われた後、宗形先生よりご挨拶があり、今日学んだ事を今後の授業の中で生かしていきたいとの言葉と、子供たちよりお礼の言葉をいただき、予定通り終了しました。

(記 牧石 稔 ⑭)

#### ◆ 県民参加森林づくり活動

日 6月18日(土)8:30~14:30、晴れ

場 小田原市小竹(住宅供給公社有林)

参 一般67名

財 豊丸課長、鳥海様 看 青木様

用具 小田原森林組合 佐久間様

スタッフ 神奈川県住宅供給公社

安全パトロール 上田⑩、飯澤⑨

イ L中元⑩、友谷①、柏倉④、山崎(寛)⑦、辻村⑨、後藤⑩、一重⑪、大塚⑪、徳岡⑪、中村⑪、波多野⑪、吉田⑪、石川⑫、澤村⑫、山崎⑫、藤代⑬、

研 鳥海⑭、水野⑭、相野谷⑭、西岡⑭、羽鳥⑭

梅雨時なので、天候が心配されたが、好天に恵まれました。良すぎて熱中症を心配することになりました。

二宮駅を予定通りに出発、バス移動し橘団地バス停で下車、徒歩移動、小竹向山第一公園にてオリエンテーション、準備体操、道具を受けとり竹林へ移動、整備3年目だが依然として荒廃状態、班毎に声かけ、足場等の注意事項を確認して作業に入った。私の班は、経験者ばかりなので、作業を分担して作業を開始、途中休憩を挟んで交代しながら実施しました。6月なので真竹の筍が出ていて間伐を兼ねて収穫することができました。淡竹の地域の人の分まで確保してくれていたのので、お土産を持ち帰ることが出来ました。熱い中、体調を崩す参加者も無く、無事に作業終了しました。

(記 山崎 博 ⑫)

#### ◆ 鎌倉市公園協会

##### 平成28年度緑のレンジャーシニア第3回

日 6月18日(土)9:15~12:00、晴れ

場 鎌倉中央公園

参 17名(男12名、女5名)

スタッフ 鎌倉市公園協会 千田様、後藤様

イ L安部⑤、小沢⑨

平生28年度緑のレンジャーシニアとして応募された方が鎌倉中央公園2F研修室に於いて、第1回、自然のしくみ、又日を改めて第2回、森林の働きの座学講習を終え、本日の第3回、緑の作業として樹林地の下草刈

りと夫々の道具の使い方、手入れの仕方を学んだ。

10時より緑化啓発講座担当の後藤様の進行によりオリエンテーリング、17名が2班に分かれ道具を装着して公園内にある指定された活動場所とした子供の森に入る。

アジサイを小さな公園とイメージして、手バサミ、刈込みバサミを使用して道具の実践。皆さん家庭等で実習の経験もあり、無理なくこなされた。高枝切り鋸については、樹木の枯れ枝等で使用しさらに落とした枝を腰鋸で切断、また枝を決められた箇所へ整理しながら置くという一連の流れを和気あいあいの雰囲気で開催されました。

集合場所へ戻り、道具の整備の実習を学び、本日のまとめを行い全員無事に終了。

(記 小沢 章男 ⑨)



#### ◆ 伯東グループ 第7回森林活動

日 6月18日(土)10:30~12:15、晴れ

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド

参 白居様他12名(男性10名、女性3名)

イ L村井⑨、牧石⑭(研修生)

丹沢山麓駅、渋沢の寒暖計はうなぎのぼりの暑さだったが、塚原は日陰に入ると涼風が頬を撫でて下界の暑さをしばし忘れさせてくれた。

今回の活動は10年ヒノキ林の下刈りと腰から下の枝打ちを短時間(1時間)で指導する作業でした。1人参加の活動に牧石さん⑭がエントリーされたようでしたが、塚原のイ、ロ、ハをご存知ないのでNW上田部長は参加をお断りしたという話を聞き伯東様、財団にも許可を頂き研修を兼ねて参加して頂きました。

持田製菓様上部の丹沢の峰々が遠望できる作業地の下刈りは主に今は草のように見えるが木になるクサギとたくさんの種をつけるタケニグサを刈り、背丈以上のヒノキの生育の邪魔をしない草は残した。枝打ちも順調に終えて牧石さんが皆さんを明るくしたヒノキ林に集めて作業の振り返りをする。暗かった林が明るくなり風の通りも良くなり一同感動的一幕でした。

作業後用具の手入れも積極的に参加して頂き助かりました。1人インストラクターですと何かあった時連絡が取れないので伯東様の活動は悩みの種でしたので白居様に話をしたところ快く聞いて下さり、研修として参加の牧石さんの活動費も頂ける事になった。研修とはいえないインストラクターの活動を終始していた牧石さんを認

めて頂いたのは大変嬉しかった。

(記 村井 正孝 ⑨)

#### ◆ 県民参加の森林づくり「竹林整備&発表会」

日 6月29日(水)8:30~15:00、曇り時々小雨

場 中井町 中井中央公園&農村環境改善センター

参 43名

財 豊丸課長、鳥海様、古舘様 看 小林様

スタッフ 中井町 井上様

イ L内野⑨、滝沢⑤、森本⑤、富樫⑥、杉戸⑥、

宮本⑥、松田⑦、吉村⑦、松村⑧、野牛⑧、

篠原⑨、村井⑨、海野⑩、橋本⑩、福島⑪、東(昭)⑫

研 小松⑭、吉岡⑭

梅雨の最中の活動だったが、濡れて滑りやすい足元や竹に注意しながら、竹林の皆伐エリアで3班、竹林の間伐エリアで2班がそれぞれインストラクターの指示で作業をおこなった。間伐エリアは、数年続けて皆伐を進めているようで、広葉樹の実生が目立っていた。新しく出てきた竹を伐るほか、林内整備もおこなった。間伐エリアでは、枯れている竹、傾いている竹、古い竹を選んで伐った。無事予定通りの作業ができて、竹林は明るくすっきりした。参加者は達成感を感じたようだ。中央公園に戻り用具の片付けをして、昼食。午後は、バスで中井町役場隣の会場へ移動してボランティア団体「なかいり山研究会」、「NPO法人 日本の竹ファンクラブ」の活動発表会に参加した。最近めっきり少なくなった炭焼きの活動発表もあり、参加者から質問を受けていた。フリータイムでは、ボランティア団体や参加者同士で交流をおこない活動は終了した。

(記 内野 ミドリ ⑨)

#### ◆ 横浜市緑小学校 森林づくり活動(間伐体験作業)

日 7月5日(火)9:30~15:00、曇りのち小雨

場 長竹継承分収林

参 5年生146名 教師&ボランティア11名

財 豊丸課長、古舘様

イ L武者⑦、伊藤⑦、小野⑦、渡部⑦、有坂⑧、

鈴木⑧、内野⑨、松山⑩、松本⑪、⑫澤村、

西出⑫、小松⑭、立花⑭、牧石⑭

当日は天候に不安があったが、何とか活動を遂行できた。生徒たちが予定通り到着し(10:00)、簡単なオリエンテーションを済ませ、11:00頃活動開始をした。13班編成(11~12名/班)で班毎にインストラクターが付き、林業、自然の話を交えながら、間伐を行った。伐倒は12時過ぎ頃終了し、昼食とした。昼食後玉切り、枝払いをし、コースター作りをおこなった。

雨の為終了を早め、14:30頃ふれあいの村に戻り、終りの挨拶を受け、活動は終了した。

子どもたちの感想は、楽しかった児童もいれば、あまり楽しく思わなかった児童もいたようだ。

しかし10mlほどの檜木を倒す経験は、これからの人生で、この機会が最後の児童がほとんどだと思うので、良い経験になったでしょう。

(記 武者 直 ⑦)

◆ 県民参加の森林づくり活動 下刈り

**日** 7月9日(土)9:40~12:30、雨  
**場** 相模原市緑区鳥屋、厚木市七沢(株)市川屋  
**参** 26名  
**財** 鳥海様、靱山様 **看** 青木様  
**スタッフ** 相模原市まち・みどり公社 2名、  
 津久井郡森林組合 1名

**安全パトロール** 上田⑩、松永⑪  
**イ** L有坂⑧、堀江④、佐藤⑤、鈴木⑤、小野⑦、  
 波多野⑨、大橋⑪、真貝⑪、斉藤⑬  
**研** 小林⑭、鈴木⑭、牧石⑭、南⑭

朝から雨模様で、下刈り作業は中止になり、プレカット工場見学のみを行った。

8:40に小田急本厚木駅から出発したバスが1時間程で宮ヶ瀬湖畔の鳥居原園地に到着したころには雨も激しくなっていた。鳥居原ふれあいの館のホールでのオリエンテーションで、本日の下刈りは中止、午後に予定されていたプレカット工場の見学を午前中に繰り上げる運びとなったことが発表された。相模原市まち・みどり公社様、鳥居原ふれあいの館の館長様のご挨拶に続き、厚木ヤクルト販売(株)様より全員にヤクルトを頂いた。



市川屋工場 風景  
 (市川屋ホームページより)

10:20に鳥居原園地を後にし、30分程でプレカット工場の(株)市川屋に到着。ここではフォレスト津久井製材工場では製材した材をプレカット加工、また加工材の現場への出荷も行っている。市川屋で扱っている35%が国産材、30%が県産材とのこと。工場では合板加工機、柱材加工機、四面加工機、横架材加工機など大型機械が大音量をたてながら巧みに木材をカットする様子を見学した。

12時に市川屋を出発し、本厚木駅で解散。今回の雨は森にとって恵みの雨となることを祈りながら帰路に着

いた。

(記 斉藤 夏葉 ⑬)

◆ 横浜市立綱島東小学校 愛川宿泊体験学習

**日** 7月13日(水)9:30~15:00、曇り一時雨  
**場** 中津川河川敷、県立あいかわ公園、宮ヶ瀬ダム  
**参** 小学5年生88名、教師等9名、計97名  
**イ** L井出①、宮本④、白畑⑦、渡部⑦、内野⑨、  
 大原⑬、松石⑬、牧石⑭、吉岡⑭

今にも雨が降りそうな一日(昼食時は雨)でしたが、予定した活動は滞りなく行うことが出来ました。

1. 中津川河川敷での川の観察・流水実験  
 ペットボトルを流して、カーブのところの川の内側と外側の流れの速さの違いを観察。板の上に大小の石を載せて、流れる様子を観察。川の地形や、水辺の自然観察。などを実施。  
 水生生物観察では、全員夢中になって生物探しを行いました。
2. ハイク(中津川河川敷→県立あいかわ公園)
3. 宮ヶ瀬ダム放流見学  
 100mもの落差は迫力十分。水しぶきを浴びながら歓声が上がりました。

小学校5年次理科で「流れる水のはたらき」の単元があります。教室での授業だけでなく、実地に観察・実験をすることで、より理解力を深めることが出来ました。非常に内容豊富で、今後増やして行きたい活動ではないかと思えます。

(記 井出 恒夫 ①)

投稿概略フォーマットと略語の説明  
 ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

**日** 日付 (できれば時間と天気も)  
**場** 場所  
**参** 参加者&人数  
**県** 神奈川県 環境農政局 緑政部  
 水源環境保全課 水源の森林推進グループ  
**財** ((公財)かながわトラストみどり財団)、**看** 看護師  
**スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様  
 例 川崎市公園緑地協会・XX様  
**イ** インストラクター (○数字:期) **研**:研修枠  
 以下本文  
 (以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)  
 リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。  
 \*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。\*\*

森のめぐみの掲載は、  
 今月号はありません。  
 次掲載は10月号です。

森のめぐみ シーズ

## やどりき水源林 ミニガイド

### 8月のトピックス

今年もやどりき水源林のつどいが開催されました。(大盛況でした) 詳細は10月号に掲載致します。



(8/11 松本撮影)

### 9月の水源林

今年もきつい残暑がありそうです。やどりきの水遊びはまだできます。種々の木の実やトンボがいるやどりきにお出かけください。

### 「森の案内人」情報

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- \*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラスト  
みどり財団 TEL: 045-412-2255  
FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)
- やどりき水源林までの道順  
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。  
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

## イベント情報 & ご案内

### 『箱根滝めぐり 健脚向き 花のハイキング』9月22日(木・祝)

箱根登山鉄道箱根湯本駅8時30分集合  
コース 箱根湯本駅⇒(バス実費)⇒畑宿⇒飛龍ノ滝⇒湯坂路⇒鷹巣山⇒千条の滝⇒小涌谷 15時30分ごろ解散 歩行距離約7km  
募集 9月15日必着  
参加費1000円 割引はありません  
雨天決行、バス代個人負担です。状況によりコースの変更有ります。  
持物: 昼食、飲み物、雨具など。  
服装: ハイキングが出来る程度(長袖、長ズボン、帽子)履き慣れた靴  
募集人員: 各80名 申し込みは、往復バスに、森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、  
〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4  
かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会  
内野ミドリまで(問い合わせ Tel 042-758-5058)

### ◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。  
<広報全般についてのお問い合わせ>  
松本 保

Mail: [matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)  
Tel: 090-7962-3168  
<電子配信担当> 赤崎 さほり  
Mail: [s\\_akasaki-k\\_instructor@live.jp](mailto:s_akasaki-k_instructor@live.jp)  
Tel: 090-6150-6173  
<メール・手書き原稿送り先>  
【本誌】松本 保  
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸3-46-17  
Fax: 045-301-9401  
電話連絡先: 090-7962-3168  
Mail: [matsutamori@jcom.zaq.ne.jp](mailto:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp)

【別冊】水口 俊則  
〒250-0871 小田原市下堀123  
Tel/Fax: 0465-42-7240  
Mail: [minagold109@kjd.biglobe.ne.jp](mailto:minagold109@kjd.biglobe.ne.jp)  
【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)  
〒214-0006  
川崎市多摩区菅仙谷3-1-1-204  
Tel/Fax: 044-944-9423  
Mail: [fukky52000@yahoo.co.jp](mailto:fukky52000@yahoo.co.jp)  
原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。  
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>  
(HP担当: 井出恒夫)

### 編集後記

- ★夏休みも終わり、少しずつ秋の気配になりました。近所の栗の実も大きくなってきました。毎日散歩しながら、季節の移り変わりを楽しんでいます。(大塚)
- ★秋は森林探訪にかなり時間を割いて、参加者の方の満足と安全を確かなものにしたいと思っております。(赤崎)
- ★ふっと気が付くと日没が早くなり、セミの鳴き声も小さくなりました。もう秋なんですね。(小川)
- ★庭に植えてたパセリにアゲハチョウがまた卵を産みつけ、幼虫の成長を楽しく観察しています。(水口)
- ★地球温暖化と言われて久しいですが、最近の日本は熱帯化している気がします。生半可な対策では間に合わないように思われます。(菌田)
- ★リオのオリンピック、日本の選手がノビと活躍しました。でも影では地道な努力と理解、協力者の存在も忘れてはなりません。私達の活動もある面、影のサポーターです。(松本)

### 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。  
郵便振替口座 00230-0-2454  
かながわ森林インストラクターの会宛まで  
ご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。  
振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保  
事務局: 福島 正治  
広報部: 水口俊則 赤崎さほり  
小川和恵 菌田栄哉  
大塚晴子 小池 哉  
支援 伊藤恭造 大原正志  
江頭淑子

## 足柄峠笛まつり

☆日時、場所: 9月11日(日曜日)10:30~15:30  
足柄城址、聖天堂  
☆主催 足柄峠笛まつり実行委員会  
(神奈川県南足柄市観光協会、静岡県小山町商工観光課)  
☆問い合わせ先  
南足柄市観光協会 0465-73-8030  
<http://www.mcity-kankokyokai.com/html/kankou/index4.html>



小山町観光協会 0550-76-5000  
<http://www.wbs.ne.jp/bt/kankoooyama/huematuri.htm>